

米国 サクランボはワシントン州産に移行

[The Packer 2024年5月29日](#)

ステミルト社がカリフォルニア州産からワシントン州産へのサクランボの移行を詳述

ステミルト・グローブズ社のブリアナ・シェールズ販売課長は、6月にカリフォルニア州からワシントン州にサクランボの出荷シーズンのバトンを渡すと言う。(以下「」は同氏の発言)

同氏によると、ワシントン州ウェナチー市に本拠を置くこの業者は、国内最大の甘果オウトウのサプライヤーの1つであり、ワシントン州産サクランボのリーダーである。同社は、慣行栽培と有機栽培のサクランボを生産し、主要なタイプはダークスイート、レーニア及び自社ブランドのスカイラーレイの3つである。同社は有機サクランボのリーダーでもある。

「ダークスイートに分類される商品には、収穫時期の異なる複数の品種がある。弊社は、果肉がしっかりとして、甘みがあり、深みのある色のサクランボを生み出す新しい遺伝子に投資している。ワシントン州にはスキーナ品種が大量にあるほか、6月に出荷できる複数の新品種もあり、喜ばれること間違いなしである。」

「弊社が力を入れているコールドチェーンを通じて、サクランボの出荷シーズンの始めから終わりまで新鮮なサクランボを小売業者に供給する能力は、弊社を他社と真に差別化するものである。」

長い出荷シーズン

シェールズ氏によると、ステミルト社は出荷期間が業界で最も長く、4月下旬のカリフォルニア州産のサクランボから始まり、8月のワシントン州の標高の高い地域のサクランボまで、毎日途切れることなく供給している。

カリフォルニア州の収穫はすでに始まっており、4月下旬から6月中旬まで行われ、ワシントン州では6月上旬に始まる予定で、6月と7月には十分な供給が見込まれている。シェールズ氏は、ワシントン州のサクランボのシーズン後半の収穫量が少ないため、8月の出荷量が大幅に減少するだろうと述べた。

「小売業者は、今年は終盤のサクランボの収穫量が少ないため、6月と7月にサクランボの売り上げを稼ぐ必要がある。弊社は、小売業者がシーズン中のチャンスを最大限に活用できるよう支援し、優れた品質と鮮度を提供することに注力していく。」

昨年のサクランボ作は、カリフォルニア州とワシントン州の収穫が重なり、ワシントン州の収穫時期が短縮されたため困難であったが、シェールズ氏は、2024年の収穫がそれと異なるのは朗報だと述べた。

カリフォルニア州は昨年豊作だったが今年も同様で、出荷量は現在、1,020万箱(18ポンド(約8.2kg)/箱)と推定されるという。一方、北西部の第1回業界予測は、2,090万箱(20ポンド(約9kg)/箱)で、昨年よりも多い。昨年との主な違いは、2つの州の重複が少なく、小売業者はシーズン中に販売できる週が増えることである。

「カリフォルニア州では、4月下旬に収穫が始まっており、タイミングがはるかに良い。我々は今、販売促進を盛大に行う時期に入っており、メモリアルデー(戦没将兵追悼記念日の祝日。毎年5月の最終月曜日)に向けた販促を実施することができ、販促可能な量を6月上旬まで維持することができる。ワシントン州は6月上旬に出荷を開始する準備ができており、6月の大規模な店頭での展開と、重要な7月4日(独立記念日)に向けた販促の絶好の機会があると考えている。」

シェールズ氏は、7月のサクランボの供給は良好だが、8月には出荷量が急速に減少するだろうと言う。「これは、高地の果樹園が1月に低温に見舞われて被害が発生し、収量が大幅に減少したためである。サクランボの出荷は昨年よりも早く終了するが、販促の機会はまだ十分にある。素晴らしい品質とサイズを見込んでおり、鮮度を第一に考えて努力する。」(以下省略)

執筆者: トム・カースト

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)